



グローバル・マインド を考える②

グローバル課題研究Ⅰ
第3回
2018/5/26

■ポートフォリオからの抜粋



(1)。「発見」したこと。「勉強になった」こと。

何をするにも土台が大切だということ！

他の班の発表を聞いて発表の仕方などが参考になりました。書かれていることだけではなく自分達の班で出た案で紙に書いてないことを口頭で説明していてレベルの高さを感じました。僕達の班では忘れていて出なかった大切な言葉などを他の班の発表を聞いて思い出すことも出来たし、その班がどう思って聞いていたかもわかったので勉強になりました。

■ポートフォリオからの抜粋



(4). グローバルマインドとは

グローバル・マインドとは、コミュニケーションをとってお互いを尊重し合うことだと思う。また、互いの文化も認め合うことでもあると思う。

自分と違う意見や考えを持っている人がいても相手のことを十分に理解し、尊重した上で自分の意見を相手と共有すること

自分の考え方が当たり前だと思わず、お互いに異なる文化や意見を受け入れ、尊重し合うこと

CONTENTS



本時の目標

- ①グローバル・マインド実践する難しさを知り、グローバル・マインドを実践する必要性を考えよう
- ②他国の知らなかった現実を発見し、知ることの大切さを理解しよう！

- ・振り返り
- ・ワークショップ①
- ・ワークショップ②
- ・ポートフォリオの記入

■ポートフォリオからの抜粋



(2). 自分がよくできたところ。

先生の話を聞いて、メモするのが良くてきたところと思う。そして、グループで積極的にメンバーとディスカッションもできるようになったと思う。

初めて話す人ばかりだったけど意見を積極的に出し合うことが出来ました。

世界のつながりと自分たちの生活の理解

- 私たち現代人一人一人は、自分で思っているほど強くない。
- 生命や生活の維持に必要なものはほとんど自分で作れない。
- 名も知らない他人が作ってくれたもので生命や生活を維持している。
- 言い換えれば、**名前も知らない大勢の他人**がいなければ、私たちは生きられない。
- つまり、私たちは他の人たちの努力によって**生かされている**。

**Our Life is supported by
Unknown Significant Others**

■グローバル社会と“ジャズ”



1. 異なった分野で能力を持ったものが自発的に協働する。
2. 特定のリーダーは存在せず、共通のゴールのためにお互いを高め合う。



ワークショップ：バーンガ



ルール説明



- ・練習10分(話してもOK)
→ルールを回収!
- ・本番5分(無言)
- ・1位の人は別のクラスへ無言で移動
V1組へ移動しよう!

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

ワークショップ：バーンガ



2回戦!

- ・制限時間:5分
(今回も無言で!! ジェスチャーはOK)
- ・終了後は元のクラスへ無言で移動

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

ワークショップ：バーンガ



シェアタイム

- ・他のクラスへ移動した人が感じたこと
- ・受け入れた人が感じたこと



なぜお互いに戸惑いが
生じたのだろうか?

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

バーンガを通しての学び



疑似的な異文化コミュニケーションを体験



ルールや前提が異なる

どのような気持ちになったり、どのような対応をするべきなのかを体験

異文化理解への第一歩

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■振り返り



- ・受け入れてみて感じたこと
- ・移動してみて感じたこと



頭で理解していても
行動に移すことは難しい!

※相手を理解するためには相手を知ること

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED



目隠しをしてゾウを理解しようとする...?

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■グローバル社会



世界が画一化・一体化していくこと

異なる他者が関わり合って 生きている社会

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■大切な2つの目



Real Eyes = Realize

- 見たい部分だけを見て、現実を矮小化ないしは歪曲化して捉えるのではなく、現実を正しく捉える目を養うことが大切。

Global Eyes = Globalize

- 目の前に見えている事だけではなく、世界規模でものごとを捉える事が必要。自分の行動や考えが地球全体に及ぼす影響をしっかりと捉えるために必要なものごとの見方。

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■1時間目の振り返り



頭で理解していても 行動に移すことは難しい！

※相手を理解するためには相手を知ること

世界から見た日本人への 理解・イメージは??

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■世界から見た日本人？



建物にがっかり	優しくない
忍者の学校がある	ポップカルチャー
全員が武道のマスター	清潔
全員仕事のしすぎ	堅苦しい
無宗教	銭湯があり得ない
秩序を保つ	文化と伝統の国

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■国当てゲーム



- ①担当する国を決める
- ②自分の国に当てはまる情報を
A~Fに当てはめる。
- ③協働しながら進めましょう！
- ④他グループの交渉もOKです。

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GARUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■担当国を決めよう！



- ・イラク
- ・カンボジア
- ・ベトナム
- ・日本
- ・ウクライナ
- ・タンザニア
- ・モンゴル

■国当てゲーム

番号	面積 A
1	180,000
2	603,700
3	378,000
4	1564,100
5	440,000
6	950,000
7	329,241

■国当てゲーム

番号	GDP B
1	2,235億US\$
2	473億US\$
3	1,093億US\$
4	111億US\$
5	49,386億US\$
6	1,715億US\$
7	177億US\$

■国当てゲーム

番号	宗教 C
1	仏教、カトリック、カオダイ教
2	イスラム教
3	イスラム教、キリスト教
4	神道、仏教、儒教
5	カトリック
6	チベット仏教
7	仏教、イスラム教

■国当てゲーム

番号	産業 D
1	通信・IT
2	農業、工業、サービス業
3	金、農業
4	鉱業、牧畜業
5	工業
6	農林水産業、工業、鉱業
7	石油

■国当てゲーム

番号	歴史 E
1	12世紀末、世界を席卷する遊牧民族による大帝国を築いた。その後、清朝の支配を受け、辛亥革命によって一旦は独立したが、まもなく中国軍閥の支配を受けるようになった。ソ連に次ぐ世界で2番目の社会主義国として成立し、現在、ウラン、レアアースの開発が進めば、経済は名実ともに鉱物資源大國として大幅に浮揚することが期待されている。
2	1991年に独立。世界で初めてレベル7の原発事故が起きた。現在では隣国との領土問題や内戦による難民問題を抱え、不安定な状況が続いている。
3	旧宗主国はイギリス。度重なる紛争・内戦に介入し続けた米国と敵対関係にある。国連の介入もアメリカの差し金として拒否した歴史も記憶に新しい。
4	「人類発祥の地」と言われるこの国では、1800年代を中心に奴隷制度、奴隷貿易が続いたあと、ドイツによる植民地支配、続いてイギリスによる植民地支配により統治されていた。その後、独立し、1964年には大陸側のタンガニーカと島国のザンザールが統合し成立した。
5	欧米列強に対峙し続け、植民地支配を受けなかった国として有名。他文化を受け入れながら独自の文化を形成した。
6	フランスの植民地時代をへて、社会主義国と資本主義国の対立の象徴として、全世界から注目された。ドイモイ政策を経て近代化が進んでいる。
7	元々、インドシナほぼ全域を統治する大きな王国であったが、度重なる内戦により大きな打撃を受けた。特に時の政権により、国民の3分の1が虐殺された歴史が有名。

■国当てゲーム 人口 F

■国当てゲーム（答え合わせ）



番号	面積	GDP	宗教	産業	歴史	人口
	A	B	C	D	E	F
ベトナム	7	1	1	6	6	5
ウクライナ	2	3	5	1	2	6
イラク	5	6	2	7	3	1
カンボジア	1	7	7	2	7	4
タンザニア	6	2	3	3	4	7
モンゴル	4	4	6	4	1	3
日本	3	5	4	5	5	2

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■振り返り



- ①基本情報でさえ、私たちは知らない
→価値観や感覚は、その国の成り立ちと深い関係がある。
- ②協働力、交渉型コミュニケーション
- ②これは日本のODA実績国
→日本との関わりがある国

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■日本のODA



ODAとは？…“政府開発援助”

日本政府のODA目標

国際社会の平和と安定及び繁栄の確保により
一層積極的に貢献すること

ODAの予算額

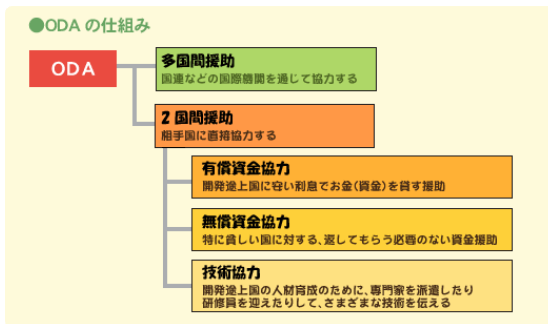
一般会計ODA当初予算の推移（2011年～2018年）

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
予算額（単位：億円）	5,727	5,612	5,573	5,502	5,422	5,519	5,527	5,538

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

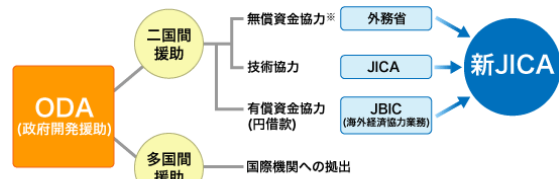
■ODAの種類



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■ODAの実施



※外交政策の遂行上の必要から外務省が引き続き自ら実施するものを除く。

ODA事業は課題解決型の
視点や要素がある。

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

© 2016 OKAYAMA GAKUGEIKAN HIGH SCHOOL. ALL RIGHTS RESERVED

■本日の授業の振り返り



■今日の振り返り

①バーンガ

- ・グローバルマインドの実践は難しい。
- ・知ることが理解につながる。

②国当てゲーム

- ・知らないことが多い事実を知る。
- ・日本政府は多くの国々の
支援を行っている

4年目の変更点

- ①授業やワークの目的と流れが明確に共有できるようになったため、細かな点の変更を手分けしながら取り組むようにした。
- ②難易度の高いワークを改めて導入し、楽しく取り組めるように、ワークの目的や手法を再考した。
- ③「日本から世界」に重点を置いていたものから「世界から見た日本」も意識させながらバランスの良いカリキュラムになるような改訂を行った。

4年目の反省点と変化

- ①細かな面のブラッシュアップに集中できるようになってきた。
- ②ネガティブな反省点はほぼ皆無となった。
- ③アクティブラーニングの目的を関係教育が明確に考えるようになり、アクティブラーニングの質が向上した。生徒たちもイキイキと楽しく考えてアウトプットできることが普通になってきた。
- ④考えることが楽しいとポートフォリオに記入するせいが多くなってきた。